

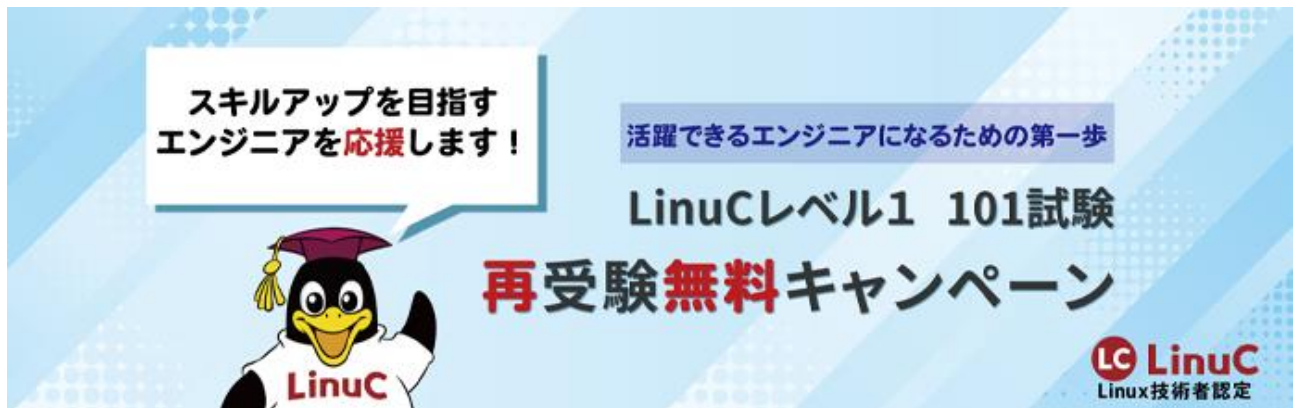
報道関係各位

LPI-J No.20240701-2

2024年7月1日

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

LPI-Japan、AI時代に求められる『実装する力』の習得を支援！  
『LinuC レベル 1 101 試験 再受験無料キャンペーン』を実施  
～スキルアップを目指すエンジニアの基礎力向上を応援します～



オープンテクノロジー技術者認定機関として Linux 技術者認定「LinuC(リナック) (<https://linuc.org/>)」などを提供する特定非営利活動法人エルピーアイジャパン(以下:LPI-Japan、東京都千代田区、理事長 鈴木敦夫)は、エンジニアの成長を後押しするために「LinuC レベル 1 101 試験 再受験無料キャンペーン」を、本日より 2025 年 3 月 31 日まで実施します。

本キャンペーンでは、LinuC レベル 1 101 試験を受験し、万が一初回で不合格の場合でも、無料で再受験することができます。

今、エンジニアには急速に発展する AI やクラウド、IoTなどを活かし、実際のシステムとして設計から運用までを具現化する実装力が求められています。Linux 技術者認定「LinuC」は Linux 技術を通してコンピュータの具体的な仕組みを把握し実装力を身に付け、ステップを踏んで成長できる認定です。

LPI-Japan は本キャンペーンを通して LinuC レベル 1 の取得による基礎力の向上を後押しし、より高度なスキル習得を目指すエンジニアを拡大していきます。

## キャンペーン概要

1 回目の受験が不合格の場合に 2 回目の受験が無料となります。

- ・キャンペーン名: LinuC レベル 1 101 試験 再受験無料キャンペーン
- ・プロモーションコード名: LINUC101-2024
- ・キャンペーン期間: 2025 年 3 月 31 日まで
- ・対象試験: LinuC レベル 1 101 試験



報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局 TEL: 03-6205-7025 / E-mail: [press@lpi.or.jp](mailto:press@lpi.or.jp)  
<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org/> <https://html5exam.jp/> <https://oss-db.jp/> <https://opcel-org/>

- ・受験方法: ピアソン VUE 試験センターと OnVUE 受験(オンライン試験)
- ・1 回目受験期限: 2025 年 3 月 31 日
- ・2 回目受験期限(不合格の場合): 2025 年 4 月 30 日
- ・キャンペーンサイト: <https://linuc.org/campaign/202407.html>

## 背景

AI 時代の到来により、エンジニアには、無数にある業務課題の中から AI の適用領域を見極め、適切に設計・構築・運用する能力がこれまで以上に求められるようになりました。その中でも特に重要なのが、より高い精度で実装するためのエンジニアリング力（実装力）です。

IT 技術はシンプルな技術を組み合わせて複雑な技術を実現しているため、実装力を身につけるためには、IT の基本的な仕組みをステップを踏んで学ぶことが重要です。仕組みを知ることで応用力や主体的に考える力が身に付き、エンジニアとして大きく成長できます。

LPI-Japan が提供する Linux 技術者認定「LinuC」は、システムのアーキテクチャ設計、構築から運用に至るまで広範囲の実装力を証明できる技術者認定です。本認定は、LinuC レベル 1、レベル 2、レベル 3、および LinuC システムアーキテクトの 4 つのレベルで構成されており、これらのレベルの認定取得を通じて、一步ずつ確実にステップアップしていくことができます。

LPI-Japan は、本キャンペーンを通じて、エンジニアの基礎力を強化し、より高度な実装力を持つエンジニアへ導くことで、社会全体のデジタル化への取り組みを支えています。

今後もエンジニアの成長を支援し、デジタル社会の発展に寄与する活動を続けてまいります。

### 【登録商標】

記載されている団体名・試験名の固有名詞およびロゴ等の知的所有権は各所有団体に帰属、もしくは LPI-Japan が利用許諾を受けた商標または登録商標です。

### ●報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局

TEL: 03-6205-7025 / E-mail: [press@lpi.or.jp](mailto:press@lpi.or.jp)

---

### LPI-Japan について

---

LPI-Japan は、日本での Linux の普及と Linux 技術者の育成のために Linux 技術者認定試験を実施する団体として 2000 年 7 月に設立され、現在は Linux に加え、OSS を中心とするデータベース技術、クラウド基盤技術、Web 技術などの IT 技術者が成長していくために重要な主要 IT 技術の認定試験を実施する特定非営利活動法人(NPO)です。

LPI-Japan は、オープンテクノロジーの分野で IT プロフェッショナルの技術力の認定制度を中立公正な立

---

報道関係者お問い合わせ先

LPI-Japan 事務局 TEL: 03-6205-7025 / E-mail: [press@lpi.or.jp](mailto:press@lpi.or.jp)  
<https://lpi.or.jp> <https://linuc.org/> <https://html5exam.jp/> <https://oss-db.jp/> <https://opcel-org/>

場で公平かつ厳正に運営することを通じて、IT プロフェッショナルの成長と活躍、さらにはオープンテクノロジーに関連するビジネスの促進に寄与する活動を展開しています。

●LPI-Japan の概要 ( <https://lpi.or.jp> )

法人名: 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

所在地: 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 9 階

連絡先: TEL: 03-6205-7025、e-mail: info@lpi.or.jp

設立: 2000 年(平成 12 年)7 月 28 日

ミッション: オープンテクノロジーの技術者認定試験の実施を通して、IT プロフェッショナルの成長と活躍を支援し、社会に貢献すること

業務内容: オープンテクノロジーの技術者認定を通じた技術者の成長支援、教育環境の整備と学習の推進、各種技術者のコミュニティ運営など

理事長: 鈴木 敦夫

理事:	中島 龍史	日本電気株式会社
	中野 正彦	サイバートラスト株式会社
	片桐 和宣	株式会社日立製作所
	松下 文男	エフサステクノロジーズ株式会社
監事:	寺本 振透	九州大学 大学院法学研究院教授

LPI-Japan プラチナスポンサー:

下記 URL の「LPI-Japan プラチナスポンサー」は、LPI-Japan の活動に賛同・支援しオープンテクノロジー人材の育成や市場の活性化に深く貢献している企業/団体です。

<https://lpi.or.jp/sponsor/list/>

LPI-Japan ビジネスパートナー:

下記 URL の「LPI-Japan ビジネスパートナー」は、Linux/OSS などの技術者認定を通じて本質的技術者を育成し活躍の場を広げることでオープンテクノロジーを活用したビジネスの拡大に積極的に貢献する取り組みをしている企業です。

<https://lpi.or.jp/bp/list/>

LPI-Japan アカデミックパートナー:

下記 URL の「LPI-Japan アカデミックパートナー」は、オープンな技術を通して IT 技術の仕組みを理解し、確かな基礎技術力を持ち社会で活躍できるエンジニアになるように、学生に向けて様々な教育を実施している教育機関です。

<https://lpi.or.jp/partner/list/#academic-p>

LPI-Japan アカデミック認定校:

下記 URL の「LPI-Japan アカデミック認定校」は、LPI-Japan が独自に定めた学習環境基準をクリアし、認定試験の合格を目指す受験者に質の高い教育を提供できる研修機関/学校です。

LinuC: <https://lpi.or.jp/school/list/>

OSS-DB: <https://oss-db.jp/learning#academic>

HTML5: <https://html5exam.jp/measures/learning.html>

OPCEL: <https://opcel.org/training>

LPI-Japan 認定教材 (LATM):

下記 URL の「LPI-Japan 認定教材 (LATM)」は、出題範囲に添って作成された教材として、LPI-Japan が認定した教材です。

LinuC: <https://linuc.org/measures/textbook/>

OSS-DB: <https://oss-db.jp/learning>

HTML5: <https://html5exam.jp/measures/textbook.html>